

「東日本大震災」 災害支援活動速報

第3報 (2011- 3-19)

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田 2 - 2 - 8 「全国財団」ビル4F TEL.03-3202-5661 FAX.03-3202-7235

1. 会員、支部の安否情報と医療機関情報

17日以降、本日までに協会に寄せられた支部からの情報と、協会の行動です。

1). 福島県支部

吉田代表夫人から連絡がありました、全 56 人の会員への連絡を行った。12 人の確認が取れない(内 5 人は電話の呼び出し音が鳴っていた)が、その他は無事を確認。世話人で 2 人と連絡が取れないが、1 人は原発関連の仕事で避難、1 人は福祉施設で勤務のため不在かも(津波の心配の無い地域)。津波被害のあった沿岸部に 2 人の会員が住んでいるので、その確認を急ぎたい。事務局は、断水だが電気は復旧して、何とか生活は維持できている。

他県支部でも安否確認が進められていますので、まとめ次第順次ご報告いたします。

2). 被災地域全会員の安否確認

東北 6 県および茨城県の全会員宛に送付した往復葉書は、各戸に届いたとの情報が入り始めました。

3). 被災地域でてんかん医療を行っている医療機関情報

被災地周辺で、てんかん医療を提供できている医療機関情報を、協会ホームページで公開中です

2. 支援活動状況

他団体とも協力をしながら、次のことに取り組んでいます。

1). 日本てんかん学会との連携：抗てんかん薬の現地への輸送

企業提供の抗てんかん薬を、今朝までに被災地医療の基地となっている「仙台医療センター」へ輸送を完了しました。国立精神・神経医療研究センター、静岡てんかん・神経医療センター、西新潟中央病院の支援を得て、何隊にも分けての輸送でした。昨夜の最終隊は 35 品目(段ボール 143 箱)でした。輸送にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました、そしてお疲れさまでした(久保田副会長も参加)。

この後は、現地の専門医(学会会員)の指揮の下、被災地の医療施設に配送されます。

2). 現地「支援センター(仮称)」の拠点を確保

被災地の状況をみながら、今後現地で支援活動の拠点となる「波の会支援センター(仮称)」を設置することになりますが、昨日松崎東北ブロック担当理事が、仙台市内の宮城県障害者福祉センター内にスペースを確保しました。他の障害者団体も活動を始めていて、横のつながりも大いに期待できる拠点です。

また、松崎理事は、本日主要な行政機関、関係団体、医療機関との調整活動に奔走中です。

3). 自治体およびマスコミへの働きかけ

てんかん治療(特に服薬)が途切れないよう、自治体およびマスコミに働きかけを開始しました。特に地元ラジオでのアナウンスに期待をしています(NHK、読売、朝日、毎日から照会あり)。協会ホームページに、患者さん向けのメッセージ、保険証や医療証の特別措置情報などを、順次掲載中です。

3). 支援募金の反応も上々です

幾つかの支部から「新年度の予算に組み込みます」、日頃取引のある中小企業からも「何もできないので気持ちだけでも」、そして多くの会員から「被災地の仲間に届けて」と、多くの声が届いています。現在銀行口座はみずほ銀行 1 行ですが、今後他行の口座開設も急ぎ準備する予定です。